

宇佐海軍航空隊跡

戦争遺構めぐり ガイドマップ

OITA
USA CITY

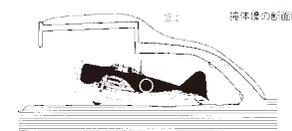


じょうい ごうえん たいごう
城井1号掩体壕 (P、トイレあり)

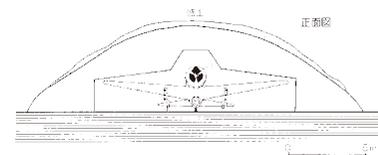
軍用機を空襲から守るための施設で、1944年の8月頃から建造が始まりました。戦後50年にあたる1995年に平和のシンボルとして宇佐市の史跡に指定され公園として整備しました。

掩体壕内部には、国東沖で引き揚げられたゼロ戦のエンジンくにかきを展示しています。

公園内には、宇佐から出撃した154人の特攻隊員の名前を記した石碑や東大寺別当が文字を書いた記念碑が設置されているほか、米国から贈られた友好の木ハナミズキなどが植えられています。



城井1号掩体壕の断面図



正面図

まちあるきアプリで宇佐市を散策しよう!

うさんぽナビ

うさんぽナビは、宇佐市にある戦争遺構や観光スポットを詳しく知るためのアプリです。ぜひアプリを持って、宇佐のまちめぐりをお楽しみください。

無料
配信中

Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play



スポット
検索



コース
紹介



収蔵品
検索



発行元：宇佐市／宇佐市教育委員会

発行年：令和元年（改訂版）

お問合せ：教育委員会 社会教育課 文化財係 TEL 0978-27-8199（直通）



滑走路跡

宇佐海軍航空隊の滑走路があった場所に、南北に延びる県道が建設されています。道路脇には、出撃する航空隊員を見送った人々をイメージしたモニュメントが設置されているほか、米国から贈られた友好の木ハナミズキが植えられています。

2



エンジン調整場

飛行機のエンジンを分解して、整備を行っていた建物です。エンジンを載せたと思われる台と点検記録用の部屋が残されています。

7

爆弾池

昭和20年4月21日の空襲でできた爆弾痕に水が溜り池のようになっています。本来の大きさは直径約10m、深さ約1.2m程ありました。

3



蓮光寺の生き残り門

昭和20年4月21日、米軍の空襲で江須賀地区の蓮光寺本堂や周辺の民家が全壊しました。この山門だけは奇跡的に戦禍をまぬがれたため「生き残り門」と呼ばれるようになりました。

8



宇佐海軍航空隊正門跡 (P、トイレあり)

宇佐海軍航空隊の正門があった場所付近に門柱が復元されています。航空隊司令部庁舎をイメージした遺構めぐりの拠点施設「宇佐空の郷」で周辺の遺構について解説しています。

4



柳ヶ浦小学校

敷地内には機銃弾の痕が残る塀や爆撃で折れた顕彰碑、戦禍を生き延びた柳の木が残っており、空襲の恐ろしさを今に伝えています。

9

落下傘整備所

落下傘（パラシュート）を整備したといわれるレンガ造りの建物です。外壁には機銃弾の痕が無数にあります。

5



宇佐海軍航空隊忠魂碑

江須賀地区の若宮神社内に、忠魂碑とともに、特攻で戦死した飛行予備学生出身士官の氏名を刻んだ慰霊碑が移設されています。

10



耐弾式コンクリート造建物

受信所または配水所といわれているコンクリート造の建物で、防弾効果等を上げるため外壁の厚さが45cmと頑丈な構造になっています。

6



高居地下壕 (P、トイレあり)

空襲に備えるために駅館川東岸の崖面に多くの横穴壕が掘られました。横穴壕は立入禁止となっていますが、事前に宇佐市教育委員会に連絡すれば見学可能です。

11

宇佐海軍航空隊に関するおもな歴史

★…世界・日本のおもな出来事

I939 (昭和14年)

10月1日
・宇佐海軍航空隊が練習航空隊として開隊する(隊員数約800名)。

I941 (昭和16年)

12月8日
・★日本軍のハワイ真珠湾攻撃により太平洋戦争がはじまる。

I943 (昭和18年)

7月9日
・一般人や学徒の勤労奉仕隊により無蓋掩体壕づくりが始まる。

I944 (昭和19年)

2月15日
・柳ヶ浦駅から航空隊への引込線完成(現在の柳ヶ浦高校付近まで)。

8月
・有蓋掩体壕づくりが始まる。

I945 (昭和20年)

2月11日
・宮崎の赤江基地より、神雷部隊(人間爆弾「桜花」による特攻隊)が約30機の一式陸上攻撃機で移動してくる。

2月24日
・高森地区の駅館川東岸台地において、司令部が入る横穴壕の建設工事が始まる。

3月1日
・宇佐海軍航空隊が作戦部隊となる。

3月18日
・宇佐海軍航空隊が米軍機(グラマン・コルセア戦闘機など)による最初の空襲をうける。出撃態勢にあった神雷部隊の一式陸上攻撃機が被害をうける。

4月1日
・宇佐海軍航空隊の保有機157機、隊員の定数2,486名。
・★米軍が沖縄本島に上陸(死者20万人以上)。

4月1日
・神風特別攻撃隊の第1次八幡護皇隊が、串良基地などに進出。以降5月11日までの特攻で154名が戦死。

4月19日
・出撃前の野村茂上飛曹が長洲国民学校のピアノで「トロイメライ」などを弾く(4月28日、鹿屋基地から出撃戦死)。

4月21日
・米軍重爆撃機(B-29)による空襲をうける(死者約320名)。航空隊は壊滅的被害。三洲国民学校(現・柳ヶ浦小学校)、柳ヶ浦高等女学校(現・柳ヶ浦高校)などが炎上。

5月5日
・解隊され、西海海軍航空隊宇佐基地となる(残存機26機)。

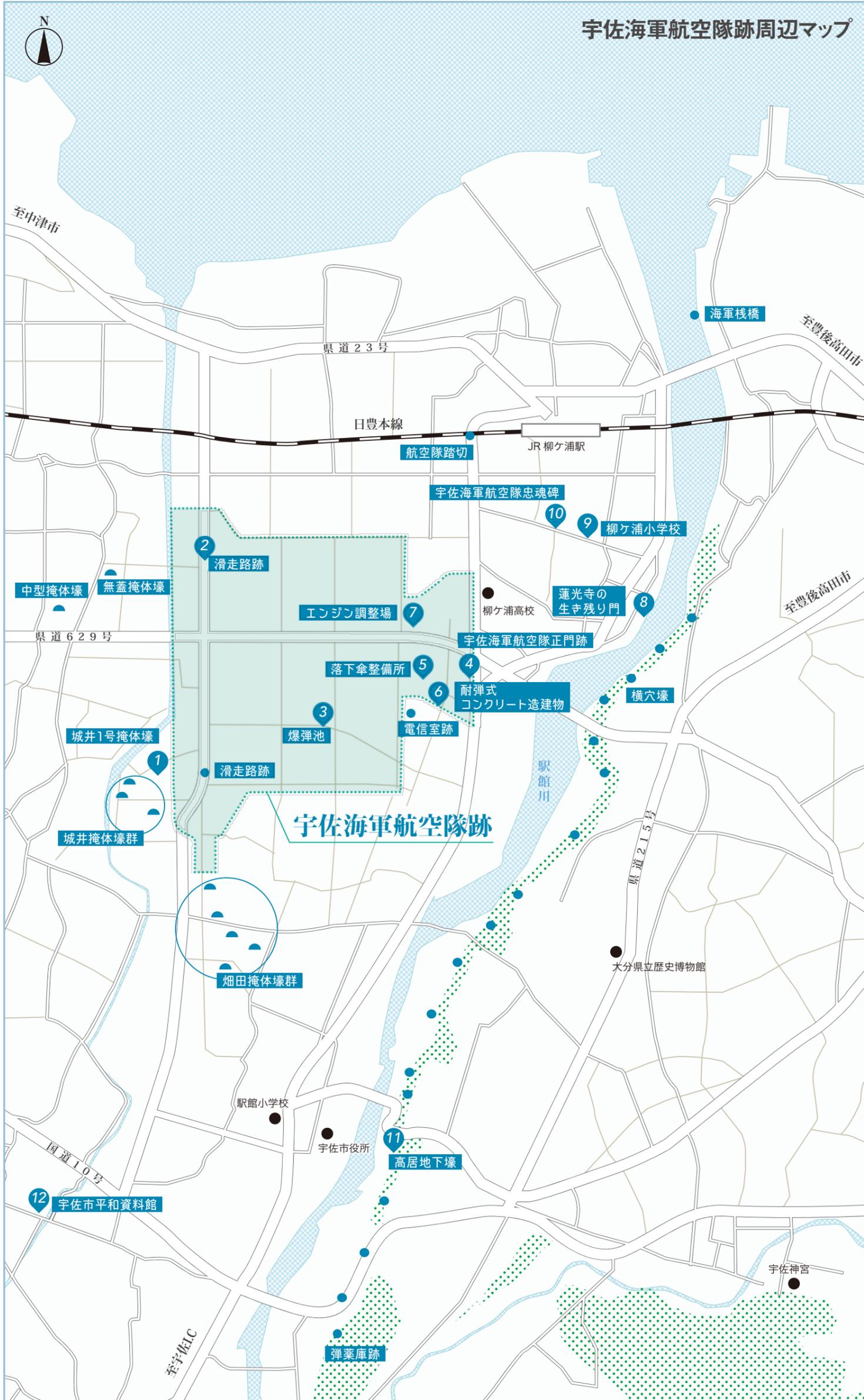
5月7日
・八面山上空にて山口県小月基地の陸軍機が米軍機(B-29)に体当たりし、撃墜する。捕虜2名を宇佐基地に移送する。

8月6日
・★広島に原子爆弾が投下される(死者20万人以上)。

8月8日
・米軍による空襲で、航空隊周辺の畑田・江須賀地区などが大きな被害をうける。

8月9日
・★長崎に原子爆弾が投下される(死者10万人以上)。

8月15日
・★終戦。





宇佐市平和資料館

12

宇佐海軍航空隊の歴史や宇佐から出撃した特攻隊、宇佐への空襲などを紹介するための資料館です。

館内では、特攻隊員の名前が残る芳名帳や米軍がガンカメラで撮影した空襲の映像、映画「永遠の0」の撮影用に制作されたゼロ戦の実物大模型などが展示されています。

◆入館無料
◆休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

● : 掩体壕
● : 戦争遺構